

市長のタウンミーティング 下中島地区

(敬称略)



開催日時 令和元年11月27日(水) 19:00～21:00
 会場 下中島公民館
 参加人数 28名

開会挨拶 下中島地域振興会長 松原 勇
 書記 中川 大樹

市政への提案、意見

番号	地区名	項目	内容
1	下中島	企業誘致	国営かんがい排出事業によって下中島地区の多くの農地は転用してはいけないという状況。企業誘致をしようとしてもできないのが実情である。企業誘致できれば固定資産税による税込増や雇用創出につながるはず。
2	下中島	ふるさと納税	魚津市における、ふるさと納税の返礼品の還元率を教えてください。
3	下中島	行財政改革	市職員の人件費削減については理解はできるが、よい成果を出した者へは+αを出すなどしないと士気が高まらないと思う。8時間労働の中での働き方を考えることが、本当の働き方改革だと思う。
4	下中島	公共施設	新川学びの森天神山交流館について、今後は民間を活用して運用したいとのことだが、我々音楽団体は施設がこれからどうなるのか心配である。
5	下中島	産科構想	産科構想の中止について、どのように思っているか。 また、労災病院へ補償金などは支払ったのか、これからも支払わなければならないのか教えてください。その損失はどれくらいか。
6	下中島	公共施設	魚津水族館には子供を喜ばせる魅力があると思うので、ぜひ整備をお願いしたい。特に交通のアクセス面について考えてほしい。
7	下中島	環境	グレタさんの国連気候変動会議でのスピーチについて市長の感想を聞かせてほしい。

令和元年度 市長のタウンミーティング実施報告書

地区名	下中島地区	日時	11月27日(水) 19時00分より 21時00分まで		参加者数	28名
会場名	下中島公民館	司会	企画政策課 上田 哲也	書記	税務課 中川 大樹	
市側の出席者	市長 村椿 晃 副市長 四十万 隆一 教育長 畠山 敏一 各部長ほか		地区からの 主な参加者	地区振興協議会長、各種団体関係者ほか		

1. あいさつ

下中島地域振興会 会長 松原 勇

2. 市長談話

市長 村椿 晃

- ① 「行財政改革の推進」について
 - 人口推移・推計・市の目標について
 - 財政状況について
 - 財政健全化計画について
 - ・公共施設の再編及び使用料の見直しについて
 - ・職員数の削減について
 - 産科構想の中止について

- ② 「魚津市総合計画の策定」について
 - 特定政策分野における取組について
 - ・子育て支援
 - ・教育環境の充実
 - ・観光振興
 - ・産業振興
 - ・魅力的なまちづくり
 - 人口減少・高齢社会対策について
 - ・移住・定住の促進
 - ・健康づくりの推進
 - ・誰もが暮らしやすいまちづくりの推進
 - 市民意識調査の結果について
 - 地域づくりの経過と各地区における事業について
 - 次期総合計画の策定について

3. 意見交換（地区からの提言・提案等について）

◆「行財政改革の推進」について

○企業誘致について

企業誘致などについてはどう考えているのですか。国営かんがい排水事業によって下中島地区の多くの農地は転用してはいけないという状況。企業誘致をしようとしてもできないのが実情です。企業誘致できれば固定資産税による税収増や雇用創出につながるはず。

（村椿市長）

私が思っているのは星の杜小学校についてです。星の杜小学校を将来にわたって活かすためには、子どもの数を維持することを目標にして、様々な政策を行わなければなりません。そのためにも若い人の働く場所が必要と考えています。したがって、企業誘致や働く場所づくりをどのように作っていくかが大事になります。

新規企業や大企業が増えたわけではありませんが、三菱日立ツールの再操業の決定など、ここ3~4年の間に企業の再操業がいくつかあります。このことは非常にうれしく思います。

こうした動きを強めていくには、農地の転用が大きな壁となります。具体的なプランをもって交渉していけば、道は開けると 생각합니다。かほく市では大型モールを誘致するにあたり、県を巻き込んで農地転用の交渉をしたと聞いています。

また、星の杜小校下に住宅地を広げていきたいと思っています。星の杜小が将来にわたって、一定以上の児童が通う学校であり続けることを目指したいと考えています。

また、企業の適地調査も始めました。企業が魚津市への出店を希望した際に、スピーディに結び付けられるようにしていきたいと思っています。

企業が事業計画などを市へ提出すれば、土地改良などについて市が全面的に協力していただけますか。また、規制がかかっている土地に住宅地を整備するのは可能なのですか。土地に規制がかかっていることを大半の地権者は知らないと思います。だから、企業誘致をする際は市が前に立って解決していただければと思います。

（村椿市長）

場所と環境にもよりますが、最初からすべてを否定しては何も進まないの、しっかり話を聞いて道と一緒に探っていくという姿勢が必要だと思っています。

○ふるさと納税の返礼品の還元率について

魚津市における、ふるさと納税の返礼品の還元率を教えてください。

（村椿市長）

ふるさと納税の返礼品の還元率は上限 3 割を守っています。人気の返礼品は「ベニズワイガニ」や「米」です。ちなみに 70 万円のふるさと納税で、「北陸新幹線グランクラス往復スイートルームのペア 1 泊 3 食」という返礼品があるのですが、11 月に 3 件ありました。11 月までのふるさと納税総額は 1500 万円に達すると見込んでいます。良質な返礼品を探している方は世の中にたくさんいます。そういった方々の目に留まるような展開を全国の自治体は知恵を絞って行っています。

○市職員の働き方改革について

市職員の人件費削減について、理解はできますが、よい成果を出した者へは+αを出すなどしないと士気が高まらないと思います。8時間労働の中での働き方を考えることが、本当の働き方改革だと思います。

(村椿市長)

職員の件に関しては、しっかりと仕事に努めてほしいと思っていますし、モチベーションを高めることも重要だと思います。そのための工夫を考えていきたいと思っています。

○新川学びの森天神山交流館について

新川学びの森天神山交流館について、今後は民間を活用して運用したいとのことですが、我々音楽団体は施設がこれからどうなるのか心配しています。

(村椿市長)

かつて音楽大学であったということで、施設には機能面などで多くの特色があります。しかし、施設全体を維持するための設備と実際に利用されている部分を考えると、非常に効率が悪い状態になっています。一部を利用するために全体を稼働させるような設備になっているわけです。このまま維持すると費用ばかりが掛かってしまいます。使用する部分だけを切り離して、そこに合う設備を置いて運営するのが望ましいと思っていますが、市でそれを実現するのは難しいのが現実です。したがって、部分的でも構わないので民間に運営してもらうなど、あらゆる可能性を探っています。

「この機能を残してほしい」という注文をすると、民間から手が上がりにくくなります。民間が使いやすくするには、ある程度自由度を高めて考えないといけません。そうすると、今と同じように安く使うというのは難しくなる可能性は高いです。

さくらホールなど素晴らしい設備もあり、そういったものを切り離して利用したいという声が出てくると思うので、そういう部分についての運営方法や運営主体を一緒に考えていきたいと思っています。

望ましい展開になる可能性もあれば、我慢していただかなければならない可能性もあるという点をご理解いただきたいと思います。

◆「魚津市総合計画の策定」について

○産科構想の中止について

産科構想の中止について、どのように思っていますか。

また、労災病院へ補償金などは支払ったのか、これからも支払わなければならないのか教えてください。その損失はどれくらいですか。

(村椿市長)

上手くいかなかったもので、失敗したと思っています。補償金は支払っていませんので、そういう意味での損失はありません。

○桃山運動公園などの冬場の利用促進について

桃山運動公園やミラージュランドなど既存の施設について、冬場の利用促進につながる案や、取組は行っていますか。

(企画総務部長)

特別な対策はまだ打ち出せていません。観光面としては、商工観光課が中心となって、冬場の利用について検討を続けています。

外国の方にとっては雪が積もっているだけでも魅力的に捉えてもらえる可能性があります。今後の取組を考えていかなければならないと思っています。

(村椿市長)

先日、ラグビーのパナソニックワイルドナイツのマネージャーに声をかけていただき、熊谷ラグビー場に行ってきました。マネージャーがおっしゃるには、もっと我々を活用してほしいとのことでした。今はラグビークリニックを年に1回開催しているだけですが、もっと地域の学校と関わりたいとのことです。

ラグビーだけに限らず、こうした取組をたくさん行うことで、冬場の施設利用につなげられるのではないかと考えています。

魚津はスポーツの街だと思っていますので、積極的に取り組んでいきたいと思っています。

○魚津水族館について

大阪から来られたご家族と話す機会がありました。魚津水族館について、丁寧で分かりやすい説明、バックヤードの見学などとても素晴らしい水族館だと言っておられました。それを聞いて私はとてもうれしく思いました。しかし、外壁の傷みなど老朽化が進んでいることも感じています。

何か目玉となるようなプラスのことがないと、入場料もプラスできないと思います。先日、私の孫も遠足で魚津水族館を訪れました。とても感動したらしく、それ以来何度も足を運んでいます。魚津水族館には子供を喜ばせる魅力があると思いますので、ぜひ整備をお願いしたいと思います。特に交通のアクセス面について考えてほしいと思います。

(村椿市長)

水族館とミラージュランドは富山県にとってもオンリーワン。魅力を高めることは必要不可欠です。今すぐにどうこうとは言えませんが、まずは足元を立て直したうえで、魅力アップを図っていききたいと思います。

大事なのは環境を良くすることだと思っています。子供たちにやさしく、お母さんたちにやさしく、お年寄りにやさしく。そのようなことをやっていきたいと思っています。

○グレタさんのスピーチについて

グレタさんの国連気候変動会議でのスピーチについて市長の感想を聞かせてください。

(村椿市長)

率直な言葉だと思いました。「将来の世代のことをきちんと考えているのか」という点は、市の財政にも通じるものがあると思います。今を生きる人にとっては苦しい部分もあるかもしれませんが、将来のために一緒に考えてほしいという思いがあります。痛みを分かち合うという意識がないと未来の扉は開かないと思います。

グレタさんのスピーチは環境問題でしたが、私は世代間での分かち合いというものを感じて聞いていました。